

「(仮称) 町田市文化芸術のまちづくり計画」の素案に対する
市民意見募集 実施結果

2025年11月
町田市文化スポーツ振興部文化振興課

「(仮称) 町田市文化芸術のまちづくり計画」の素案に対する市民意見募集実施概要

町田市では、文化芸術を活かしたまちづくりを推進するため、「(仮称) 町田市文化芸術のまちづくり計画」の策定を進めています。本計画の素案に対する市民の皆様からのご意見を募集し、その結果を以下のとおり報告いたします。

1 意見募集期間

2025年9月22日（月）～2025年10月21日（火）

2 意見募集方法

- 町田市ホームページに掲載
- 広報まちだ（2025年10月1日号）に掲載
- 以下の窓口で閲覧及び配布
 - ・市庁舎（10階文化振興課、1階広聴課・法務課（市政情報コーナー）
 - ・各市民センター、各駅前連絡所・コミュニティセンター
 - ・各市立図書館
 - ・町田市民ホール
 - ・和光大学ポプリホール鶴川
 - ・国際版画美術館
 - ・町田市民文学館
 - ・自由民権資料館

3 寄せられたご意見

13名の方（団体からの意見も1名と数えています。）から、34件のご意見をいただきました。

寄せられたご意見の要旨とそれに対する市の考え方は次のとおりです。なお、取りまとめの都合上、いただいたご意見は要約しています。

項目	件数
（1）計画全般	7件
（2）計画の基本的な考え方	5件
（3）目指す姿	1件
（4）文化芸術プロジェクト	2件
（5）施策と取り組み	19件
合計	34件

4. ご意見の概要と市の考え方

以下に、市民から寄せられた主な意見と、それに対する市の考え方をまとめます。

(1) 計画全般

No.	ご意見の概要	市の考え方
1	(まちだ未来づくりビジョン2040の)基本計画がライフステージごとにまとめられているが、この計画はライフステージに沿ったまとめとなっていないのはなぜか。	まちだ未来づくりビジョン2040の基本計画部分において、文化芸術は政策7(ありのまま自分を表現できるまちになる)に掲げており、全世代に向けた政策と位置付けています。 同政策においては、いつでも、どこでも、だれでも、あらゆる文化芸術を楽しむまちになることを目指しており(施策7-2)、ライフステージに関わらず、誰もが文化芸術に触れる機会をつくることや、文化芸術に親しめる環境をつくっていくこととしているため、本計画ではライフステージに沿ったまとめ方とはしておりません。
2	基本資料は末尾でいいので付けてほしい。文化施設位置図や市民センター、学校位置、町田周辺の芸術関係の大学、周辺市の芸術関連施設など、プロの芸術関係人(団体登録しているとか構成員であるとか公表している個人・団体など)	本計画においては、別添として資料編を作成し、公表する予定です。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
3	P3のはじめにの文は、何を意味しているのか。この計画のまとめなのか。	本計画3ページ目の「はじめに」の文章は、文化芸術のイメージや効果を伝えるとともに、計画内で大切にしたい言葉の要素を抜き出し、町田市が目指すまちの姿をわかりやすくお伝えすることを目的としています。
4	P7の策定の目的にある「町田市基本構想・基本計画『まちだ未来づくりビジョン2040』」が何であるか、ここに注記が必要と思う。	計画内で注記が必要な文言については、記載してまいります。
5	アート活動している人は活動していない人に比べて寿命が7年ほど長いという研究結果が出ていると聞いたことがある。併せて幸福度も高いようなので文化芸術に関わる計画はとて面白いと思う。	文化芸術は、人々の暮らしに潤いや彩りを添え、心を豊かにし、喜びや幸せを感じるだけでなく、人と人とがつながることや、多様性を認め合うことに加えて、支え合いの土壌を育むと言った、様々な役割を果たしていると考えています(本計画3ページ目を参照)。

No.	ご意見の概要	市の考え方
6	町田と言うと文化芸術というよりもスポーツやお祭りのイメージが強いが、この計画が進められれば、ますます町田の魅力が増すと思う。また、町田の良さでカジュアルなイメージがあるが、文化芸術も堅い感じではなく気軽に親しめるようなものが出来たら良いと思う。	文化芸術のまちづくりにあたっては、本計画に基づいて、誰もが気軽に文化芸術に触れ、親しめる環境をつくることで、文化芸術を楽しみ、町田市への愛着や、まちの賑わいにつなげてまいります。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
7	多様性を尊重する社会が求められる時代なので、文化芸術についても多様性を尊重し合える環境を少しずつ築く必要があると思う。 自分は聴覚障がいを持っており、健常者と一緒に文化芸術を楽しみたいのが本音である。例えば、音楽。音を聞くことができない人が健常者と一緒に楽しむ方法を考えることが必要であり、今回の計画ができたことを機会に進めていけたらいいなと思う。 逆に、健常者が手話を知りたい場合、手話劇や手話ダンスを実施するのもありだと思う。お互いに障がいの違いを知り合うことで、文化芸術を楽しみ、町田市への愛着やまちのにぎわいにつなげていきたい。	年齢や国籍の違い、障がいの有無、文化芸術のスキル等に関わらず、全ての方に文化芸術活動や鑑賞、体験の機会が得られるまちづくりを進めてまいります。

(2) 計画の基本的な考え方

No.	ご意見の概要	市の考え方
8	市・企業・市民（団体）の役割が分かりにくい。	本計画の素案10ページ目に、各関係主体に期待することとして、それぞれの役割をまとめています。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
9	本計画における文化芸術範囲とは、基本法に例示されているものをホントに超えているのか、なぜそれを町田市はこの計画に含めるのか。囲碁将棋など記載されているがチェスなど外国で流行っているものは含めないのか。日本に伝わるものだけとするのか。	本計画は、文化芸術によって“まちの賑わいを更に生み出すための「まちづくり計画」”として、文化芸術の範囲を広く捉え、新しいアートやカルチャーをはじめ、その他多様な取組も積極的に受け入れることとしています。 記載の内容については例示であり、特定の文化芸術を排除する意図はありません。

No.	ご意見の概要	市の考え方
10	P10の市の役割で「情報を一元的に発信し」とあるが、発信は民間など役所以外に任せたほうがうまくいくのでは。役所の役割は「情報を一元的に集約し活用しやすいように提供する」くらいでいいのでは。	「情報を一元的に発信すること」につきましては、市の重要な役割の一つと捉えており、現在も SNS 等を活用して文化芸術の魅力を積極的に発信しております。今後も、より効果的な情報発信を目指し、民間との連携も図りながら、より多くの方々に情報を届けられるよう努めてまいります。ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
11	昨今デジタル化が進み、インターネットを通じて音楽や絵を楽しむことができるようになったが、伝統的な絵画や芸術作品を、デジタルを利用して楽しむことと、デジタルを通してネット越しに楽しむのは味わい方が全く違い、そのすみ分けや融合のバランスが難しいと感じる。「ネット・スマホ・SNS等が生み出す新たなカルチャー」を楽しむ人は、ツールさえあれば場所を選ばずできるものなので、町田市ならではの楽しみ方があると、新たな文化芸術としてさらに活気づくのではないかと思う。	本計画は、文化芸術によって“まちの賑わいを更に生み出すための「まちづくり計画」”として、文化芸術の範囲を広く捉え、町田市ならではの景観や暮らしのライフスタイルをはじめ、その他多様な取組も積極的に受け入れることとしています。文化芸術のまちづくりにあたっては、市民やまちづくりに関わる方々が文化芸術を楽しみ、町田市への愛着やまちのにぎわいにつなげていけるよう、計画的にまちづくりを進めてまいります。ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
12	市役所は縦割りの印象が強いが、関連する分野や計画との連携について示されていたり、町田市への愛着やまちのにぎわいにつなげていくことを掲げていたり、文化の分野のことだけでなく、市全体として文化芸術で盛り上げていこうとしていることに好感を持てた。	文化芸術のまちづくりにあたっては、観光や福祉、教育その他の関連分野や、多様な主体との連携を強化し、計画的にまちづくりを進めることをもって、市民やまちづくりに関わる方々が文化芸術を楽しみ、町田市への愛着やまちのにぎわいにつなげてまいります。

(3) 目指す姿

No.	ご意見の概要	市の考え方
13	P11の「文化芸術を育み・・・」とのキャッチフレーズの内容が新たに出る、今までの流れと関連性が分かりません。目指す姿に込めた想いとは、どこから出てきたのか。	本計画に掲げる、目指す姿「文化芸術を育み 笑顔咲くまち～町田で Let's stART～」は、市の現状や課題、市の特色や子ども・若者をはじめとした市民の皆さんへのヒアリングなどの結果を受け、庁内検討委員会や町田市文化芸術のまちづくり計画策定検討委員会における議論を踏まえて定めています。

(4) 文化芸術プロジェクト

No.	ご意見の概要	市の考え方
14	P17に「プロジェクト」との記載があるが、プロジェクトの意味や位置は。	プロジェクトについては、計画素案の25～27ページ目に記載のある、「まちだSmile-link project」を意味しています。本計画の目指す姿の実現に向けて、文化芸術活動によって生まれた笑顔の輪を広げ、未来につなげていくため、方針を横断して重点的に実施するものであり、文化芸術のスタートを踏み出せるよう、きっかけをつくっていきます。
15	P26のProject Aのまちだ〇ごと大作戦18-20 ⁺ やまちだ若者大作戦などは、どこかに中身を説明してくれないと分からない。	計画内で注記が必要な文言については、記載してまいります。

(5) 施策と取り組み

No.	ご意見の概要	市の考え方
16	(本計画素案P31、P35、P39、P43ページの) 下のほうにある絵の中にやりたいことのコメントがちりばめてあるが、市民のニーズとしてこれらをもっと注目してあげるほうがいい計画になると思う。	本計画では、各方針に沿ったまちづくりを進めることで、どのようなことができるようになるかについて、市民の皆さんにわかりやすくお伝えするため、各方針記載ページに「方針に沿ったまちづくりでふくらむ、いいこと」の欄を掲載しています。ご意見につきましては、今後の計画冊子作成の参考とさせていただきます。
17	せりがや会館は2027年3月末日に閉館すると聞いたが、多数の文化団体が集会場として利用しているため、代替用の施設を早期に設営してほしい。	本計画においては、文化芸術活動のための練習の場や制作の場を増やす取り組み（方針2場をつくる）を進めてまいります。ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
18	文化芸術を育むための土台は義務教育の時期に本物に触れることだと考える。まずは既存の施設を最大限に活用し、義務教育期間中に授業の一環として最低でも必ず1回は本物に触れる機会を提供できるようにできないか。	本計画においては、誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会を確保する取り組み（方針1きっかけをつくる）や子どもたちの文化芸術を「する」体験を増やし未来に育んでいく取り組み（方針3 未来につなぐ）を進めてまいります。ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。

No.	ご意見の概要	市の考え方
19	夏休みの自由研究で町田に関するテーマを出し、必ずどこかの施設を訪問し、レポートなどにまとめるのも一つかと思う。文化芸術は基礎的な教養があってこそ花開くと思うので、子どもたちへの教育に力を入れて欲しい。	文化芸術のまちづくりにあたっては、小・中学校や教育機関との積極的な連携が重要なことと考えております。 また、本計画においては、誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会を確保する取り組み（方針1 きっかけをつくる）や子どもたちの文化芸術を「する」体験を増やし未来に育んでいく取り組み（方針3 未来につなぐ）を進めてまいります。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
20	現在の市民ホールの利用状況や集客効果が充分であるのかを精査し、その上で更に文化芸術ホールが本当に必要であるのかを市民に納得できる説明をしてほしい。	ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
21	対象者に来て貰うのではなく、こちら（活動者側）から対象者のところに向向いて地域の民俗文化を披露する機会をアレンジ頂けると良いと思う。 具体的には、小学校高学年（あるいは中学生）を対象としたイベントの機会などに地元 の民俗文化や歴史・背景を紹介する機会を作るようなことができると良いと思う。	本計画においては、誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会を確保する取り組み（方針1 きっかけをつくる）や子どもたちの文化芸術を「する」体験を増やし未来に育んでいく取り組み（方針3 未来につなぐ）を進めてまいります。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
22	幼少期に体験したこと、感じたことは生涯を通じて自身の根幹ともなる部分であると感じているので、小中学生だけでなく、幼稚園保育園世代の子どもたちにも文化芸術に触れる機会を多く作るべきと思う。	本計画においては、子どもたち（小中学生だけでなく、幼稚園保育園世代の子どもたち）の文化芸術を「する」体験を増やし未来に育んでいく取り組み（方針3 未来につなぐ）を進めてまいります。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
23	国際版画美術館のような世界的に見ても貴重である美術館をもっと学校の授業等で活用できるようにすることで、より多くの子どもたちの心に残り、生涯にわたり地元町田が文化芸術のまちであるという認識を持てるのではないか。早期の工芸美術館のオープンに期待している。	文化芸術のまちづくりにあたっては、町田市の特色となる特徴的な施設も活かしながら、まちの賑わいを更に生み出すまちづくりを進めてまいります。

No.	ご意見の概要	市の考え方
24	有名なアーティストを呼ぶ企画もあると巻き込み力も増加し、より多くの人が文化芸術に触れるきっかけに繋がると思うので予算確保も期待している。緊急ではないが重要なことに注力することこそ、長い目でみて、より大きな発展に繋がると信じている。	本計画においては、文化芸術を身近に感じるイベントや、文化芸術大型イベント（「まちだSmile-link project」Project B）を実施してまいります。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
25	日本の誇るべき書道文化は2026年の年末にユネスコの無形文化財に登録されることが予定されており、登録後は外国人観光客の体験希望や見学希望等、注目されることが予想される。そこで、発表の場として、駅前公民館のスペースを大型展示施設にできないか検討してほしい。	本計画においては、活動の場を充実する取り組み（方針2場をつくる）を進めてまいります。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
26	市民が書や絵画を学び、その作品を展示して気軽に発表し、買物ついでに気軽に楽しめる発表の場も文化芸術に親しむには不可欠と考える。デパートなど商業施設の一部壁面を借用できるよう検討してほしい。	本計画においては、活動の場を充実する取り組み（方針2場をつくる）を進めてまいります。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
27	文化芸術を学ぶためのカルチャーは敷居が高く、きっかけとして、市で無料講座を解説してもらいたい。	本計画においては、誰もが気軽に体験できる機会を確保する取り組み（方針1きっかけをつくる）を進めてまいります。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
28	子どもたちに「美しい」文字を書くだけでなく、書は「自己表現の一つ」だということを伝えたいと思う。	本計画においては、子どもたちの文化芸術を「する」体験を増やし未来に育んでいく取り組み（方針3未来につなぐ）を進めてまいります。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
29	この先、より多くの人に文化芸術をたのしんでもらうためには、幼いころにいかに関心の種を蒔けたかが重要だと思う。成長したときに文化芸術の敷居が高いと感じさせないためにも幼少期の芸術鑑賞・体験を環境が整えられるとよいと考える。	本計画においては、誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会を確保する取り組み（方針1きっかけをつくる）や子どもたちの文化芸術を「する」体験を増やし未来に育んでいく取り組み（方針3未来につなぐ）を進めてまいります。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。

No.	ご意見の概要	市の考え方
30	P39の「方針に沿ったまちづくり でふくらむ、いいこと」の「子どもや若者に興味を見てもらえる」は「持ってもらえる」の誤りではないでしょうか。	ご意見に基づき修正いたします。
31	私は友人に観劇に誘ってもらったのをきっかけに舞台演劇に興味を持つようになったため、触れあい出会うきっかけはとても大切だと思う。方針1のきっかけをつくるは文化芸術に興味をもってもらうために、とても重要な要素だと思う。 P32の取組①の「文化芸術を身近に感じるイベントを開催します」が、かつての私のように興味を持つきっかけとなるのはとても素晴らしいことだと思いますし、どのようなイベントになるのか、今からとても楽しみである。	本計画においては、文化芸術を身近に感じるイベント（方針1きっかけをつくる）や、文化芸術大型イベント（「まちだ Smile-link project」Project B）を実施し、新たなチャレンジや Re:スタートを踏み出せるような、きっかけをつくってまいります。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
32	子どもを持つ親として、家庭でもっと文化芸術にふれる体験をさせたいと思うが、YouTube など動画を見ることが多い子ども達を外に連れ出す難しさを感じている。 計画の中で、誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会の確保とあるが、とても良い施策だと思う。特に、学校生活の中で鑑賞・体験機会があると、子どもも友達と一緒に体験できるので、より印象深く、興味を持ってもらうきっかけになると思う。	文化芸術のまちづくりにあたっては、小・中学校や教育機関との積極的な連携が重要なことと考えております。 また、本計画においては、誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会を確保する取り組み（方針1 きっかけをつくる）や子どもたちの文化芸術を「する」体験を増やし未来に育んでいく取り組み（方針3 未来につなぐ）を進めてまいります。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
33	文化芸術を楽しむ素養を育むためには、子どもの頃からの経験が重要だと思う。しかし、最近では学校の先生の負担軽減のためか、音楽会などの学校行事を減らす傾向があると思うので、学校の先生たちの負担を考慮しながらも、学校と連携して、子ども達が文化芸術に触れる機会を増やす取り組みを期待している。	文化芸術のまちづくりにあたっては、小・中学校や教育機関との積極的な連携が重要なことと考えております。 また、本計画においては、誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会を確保する取り組み（方針1 きっかけをつくる）や子どもたちの文化芸術を「する」体験を増やし未来に育んでいく取り組み（方針3 未来につなぐ）を進めてまいります。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。

No.	ご意見の概要	市の考え方
34	<p>（団体として）会員数や展示会出展数の減少が課題となっており、高齢化と若年層の会員不足がある。また、要因として会員の会費や出店費の負担や行事の開催が平日で現役世代が参加しにくいことが要因と考えており、団体の努力に加えて、市からのサポートも必要である。</p> <p>そこで、現役世代が参加しやすくなるよう、展示会の搬入を土日に行える仕組みの整備や、版画美術館へのアクセス改善として町田駅からのシャトルバスの復活をご検討いただきたい。また、出展費の負担軽減のため、市からの会場費等の補助もお願いしたい。さらに、子どもや若者が芸術に親しむ機会を創出し、世代を超えた文化活動の活性化を図る取り組みを、市が主導して進めていただければと思う。町田市も文化芸術の街づくりを目指すのであれば、版画美術館やフォトサロンなどコアになる施設をうまく活用して、すそ野を広げるような重層的な活動を市が先導して欲しい。</p>	<p>本計画の策定にあたり、文化芸術の活動者の高齢化や担い手不足、新規加入者不足が文化芸術のまちづくりにおける課題と認識しています。</p> <p>そこで、本計画においては、誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会を確保する取り組み（方針1 きっかけをつくる）や、活動の場を充実できるような取り組み（方針2 場をつくる）、次世代に文化芸術を継承していく取り組み（方針3 未来につなぐ）を進めてまいります。</p> <p>ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>